

令和3年度 第1回生駒市行政改革推進委員会分科会① 会議録

開催日時 令和3年10月4日(月) 午後2時～午後4時

開催場所 生駒市コミュニティセンター 402会議室

出席者

(委員) 森会長、稲山委員、森岡委員、新子委員

(事務局) 杉浦総務部長、後藤行政経営課課長補佐、岡田行政経営課主幹兼経営係長、天野財政課主幹、島田行政経営課同係主任

(傍聴者) なし

欠席者

なし

1 開会

(事務局) 本日の案件は、「前期行動計画の取組状況の確認について」である。

2 案件

「前期行動計画の取組状況の確認について」

(会長) 各委員から提出された評価をとりまとめた資料及び担当課評価が記入された取組状況評価シートをもとに各取組について総合評価を決定する。総合評価は基本的に数値目標に対する実績値で評価し、事業そのものに対する意見があれば、評価が確定した後に発言いただきたい。

No.11 市政情報の提供・発信

(会長) R1年度について意見はあるか。

(委員) この取組に関わらず、全般的に、自分で目標を設定すると甘く設定してしまうので、その目標を達成したからどうなのかという想いがある。R元年度に目標を達成しているのにも関わらず、R2年度の目標をあまり上げていない。そもそもの目標設定が甘かったのではないかと思った。そもそも目標設定の仕方がどうだったのかという点が疑問だったこと、R2年度の目標値が低いことからC評価とした。

(会長) R2年度についてはそれが言えるかもしれないが、R元年度の目標値が高いか低いかは分からないので、R元年度については設定されている目標値に対する実績値で評価するしかないと思う。

(委員) R元年度についてはそれで仕方がない。R2年度はコロナの影響でHPの閲覧数が増えたと思うが、コロナがなければどうだったのかが分からないので評価することが難しい。

(会長) 今の話を整理すると、やはりR元年度はB評価だと思うのだが。

(委員) ここに書かれている情報から評価すればB評価になるだろう。デジタルコンテンツは

どんどん発展しているので、本来であればもっと閲覧数は伸びていくべきだとも思う。ただし、閲覧数が増えたらどんな効果があるのかという点は疑問ではある。デジタルコンテンツを増やしたことでどのような効果があったのかという指標があれば分かりやすいのだが。ツイッター等のコンテンツが増えて情報を把握しやすくなっているが、一定程度理解している人でないと利用が難しい。高齢化社会が進展している生駒市で、コンテンツを増やしてばかりで良いのか。高齢者が置いて行かれてしまう。高齢者への対応はどうだったのかという点を評価する指標があれば、総合的に評価しやすい。

- (会 長) これは一部分を切り取っているので、他の視点から見ればどうなのかということとは分からない。ただし、ここでは記載されていることから評価せざるを得ない。
- (委 員) 資料を見る限りでは、選挙や災害などの緊急性が高い情報を発信する機会が多く閲覧数が多かったという点は評価できるのでB評価で良いと思う。
- (会 長) それでは、R元年度はB評価とする。次に、R2年度の目標値について、R元年度に目標を達成しているにも関わらず、R元年度の目標値とほぼ変わっていない。目標値をもっと高く設定すべきではないかという意見があるがどうか。
- (事務局) ここに記載している目標値については、行動計画策定時に設定したものである。計画策定時のHP閲覧数から少しずつ閲覧数が増えるように目標値を設定していると考えられる。もう一点、今年度はR元年度とR2年度の2年度分をあわせて評価していただいているので分かりにくい点があると思うが、その点について考慮のうえ評価いただきたい。
- (会 長) R2年度については、コロナという突発的な事情から閲覧数が増えたのだと思う。その点を考慮してB評価とするか、C評価とするか。ツイッター等の様々な手段を使って情報を発信した中でも、HPの閲覧数は伸びている。その点を考慮すると、よく健闘しておりB評価で良いと思うのだが。
- (委 員) 過去において、HPの総閲覧数について、目標値に達しなかったことはあるのか。
- (事務局) 閲覧数は右肩上がりである。目標値を下回ったことはおそくないのではないか。
- (委 員) やはり目標値の設定方法がどうなのかという点は疑問に残る。
- (事務局) 前期行動計画で目標値を設定しており変更することは難しいので、現に設定されている目標値で評価いただきたい。後期行動計画の数値目標設定の際に、厳しい視点で確認いただきたい。後期行動計画で設定する指標については、成果指標となるよう検討する。
- (会 長) 目標を高く設定してもらえるような運用をすべきである。
- (委 員) 市内部の会議で、設定した目標値について他の部長から指摘されるような機会はないのか。設定する目標に対しては、各部長が責任を持つべきである。
- (事務局) 計画を策定する際には、市内部の会議で諮っている。また、取組状況に対する評価がとりまとまった際には、同様に市内部の会議で報告させていただく。その際に、指標の設定方法についても説明させていただく。
- (会 長) R2年度の評価については、Bで良いか。
- (委 員) 総合評価はBにして、コメントに意見を残してはどうか。

(各委員) 了承

No.12 多様なツールで情報発信

(委員) 設定された目標値が妥当な数字なのかが分からなかったので評価のしようがないと思い、C評価にした。

(会長) 数字の妥当性は市内部で評価しているということなので、B評価として良いか。

(各委員) 了承

(会長) R2年度について、R元年度から数字が伸びているのでB評価で良いか。

(各委員) 了承

No.13 市民自治協議会の設立に向けた支援とともに、市民自治協議会や準備会の活動支援

(会長) R元年度について意見はあるか。

(委員) 地域のコンセンサスをどうとっていくか。これまでは自治会が機能していたが、自治会が衰退してコンセンサスがとりにくくなっている。小学校区の中で、様々な市民の意見を取り入れて、地域の中で意思の統一を図っていくための団体である。

(委員) コロナウイルスの感染が拡大している中、数字を維持できただけでも評価できる。

(会長) 担当課もD評価としているので、D評価で良いか。

(各委員) 了承

(会長) R2年度についてはどうか。

(委員) 生駒市は、小学校区と中学校区が重なっていないので、活動が難しい。

(事務局) そういった点を市民自治協議会でどのように考慮すべきか、担当課は苦勞している。自治連合会の力も借りて進めているが、なかなか思い通り進まない。

(会長) R2年度はコロナの影響をもろに受けている中で2箇所を維持できたのは評価できるが、担当課もD評価としているのでD評価で良いか。

(各委員) 了承

No.14 コーディネート機能の充実による活躍の場の提供

(会長) R元年度は全員B評価なのでB評価で良いか。

(各委員) 了承

(会長) R2年度についてはどうか。

(委員) この取組は、人を集めて実施することが主であるが、コロナの影響で中止になっている。こういった点を考えると、評価以前の問題だと思うのだが。取組が悪かったから目標を達成できなかったわけではないので、C評価とした。

(会長) もろにコロナの影響を受けているのに、通常の方法で評価するのはおかしいという意見。確かにそうだが、コロナ禍で出来ることをやっていると考えればC評価でも良いと思うがどうか。

(委員) これまで継続してきた取組をコロナで中止したことで、今後どのような影響が出てくるのか将来的な点も考えなければならない。

(会長) 活動を中断している状況が平時に戻った際に、活動を元に戻せるようにしてほしいと

いう思い。今の話を聞くと、できることに取り組んできたという点でC評価ではどうかと思うのだが。

(委員) コロナで出来ていないのであれば評価できないと思うのだが、それでも評価しなければならないのであれば、今後頑張ってもらいたいという思いを込めてE評価とした。取組が出来ていないのに、C評価とする必要があるのか。

(会長) Eだとかなり厳しい評価となってしまう。

(委員) コメントで補足は必要である。担当課も出来なかったという点は分かっている。

(委員) 取組 No13 と同じ考え方でD評価としてはどうか。

(会長) コロナの影響を加味してC評価にするのは配慮しすぎと感じた。意見を聞いて、D評価でどうかと思うのだが。

(委員) 41 件の成果でどのような効果があったのかを知りたい。その点が分からないので、数字だけをみるとD評価で良いと思う。

(各委員) 了承

No.15 総合型スポーツクラブの推進・支援

(会長) 会員数が目標を少し上回っているのでB評価で良いか。

(各委員) 了承

(会長) R2年度は、会員数が減少していることからC評価で良いか。

(各委員) 了承

No.16 民間事業者等との協創の活性化に向けた対話窓口の設置

(会長) コメントで成果指標に関わることを指摘されているが、その点については分からないので、ここでは設定された目標値に対する実績値で評価したい。相談・提案は0件だがその前段階の取組は出来たので担当課はC評価としている。

(委員) 準備は準備であり、実績が伴っていないので、D評価とした。

(会長) コロナの影響から、その点は仕方なかったということだと思うのだが。

(委員) ワークショップは本気で開催しようと思えばリモートでも出来たはずである。3月に窓口設置というのがそもそも遅いのではないか。

(委員) 評価の根拠欄に記載されていることをそのまま評価すればC評価だと思う。評価する者にとってわかりやすい説明資料があると助かるのだが。

(会長) 職員研修や窓口の設置はしたが、WSはコロナで出来なかった。そういった点からC評価とするのかD評価とするのか。

(事務局) R元年度の取組として前期行動計画には、対話窓口の設置・ガイドラインの策定・職員研修の実施・民間事業者とのWSを実施し、2件の相談・提案を受けるという目標設定をしている。しかし、コロナの影響でWSができなかったことから0件となってしまった。

(委員) 窓口の設置をもっと早くすれば、コロナの影響を受けずに相談・提案件数を増やすことはできたかもしれない。

(会長) 窓口の設置は出来ていることからC評価で良いか。

- (各委員) 了承
- (会 長) R2 年度について意見はあるか。
- (委 員) 目標を達成できていなくても、大きな課題を解決できていれば良い評価ができる。評価しやすいように説明を入れてほしい。
- (会 長) 提案件数は 8 件だが、実現したのは 4 件である。そのマイナス要因をどこまで加味するのか。提案の中身が分からないので、B 評価だと思う。具体的に何をしたのか。
- (事務局) 提案件数 8 件のうち実施した事業は、「電話と AI を活用した認知機能を判定する協働実証実験」、「富雄川の浸水想定区域をドローンで撮影」、「本屋さんで図書館でスタンプリナー」、「「さきめし」を利用した飲食店支援プロジェクト」の 4 件である。
- (会 長) なかなか良い取組をしていると思う。B 評価で良いか。
- (各委員) 了承

No.17 市民がまちづくりに参画できる機会提供の充実と公益活動団体と地域との連携

- (会 長) 担当課がかなり厳しめの自己評価をしている。目標値を達成しているので、B 評価で良いと思うのだが。目標に対して実績が近似値である場合、下回っているのであれば C 評価だと思うが、上回っているのであれば B 評価で良いと思うのだが。
- (各委員) B 評価で良い。
- (会 長) R2 年度はどうか。コロナの影響をどこまで加味するのだが、指標 1 の事業数が R 元年度からそれほど下がっていないので、C 評価にしてはどうか。
- (各委員) 了承

No.18 本を通じたコミュニティづくり、市民との協働事業の実施

- (会 長) 様々な良い取組をしている。目標値に対する実績値で評価すると、B 評価で良いと思うがどうか。
- (各委員) 了承
- (会 長) R2 年度はどうか。課題意識は素晴らしいが、外形的には評価は厳しくなる。こういったコメントを記載したうえで B 評価としてはどうか。
- (各委員) 了承

No.19 地域特性に応じたまちづくり（ミライ会議）

- (会 長) 生駒市が主体で会議を立ち上げるのか。
- (事務局) 立ち上げは生駒市だが、徐々に住民主体に切り替えていっている。
- (会 長) 成果が分かりにくい部分はあるが、地域主体でイベントを実施している。
- (事務局) 萩の台の場合は、イベントを実施したことで旧集落と新興住宅地の住民の間で交流が生まれたという実績がある。
- (委 員) こういった取組の成果がでるのは 5 年後ぐらいだと思う。大規模宅地開発されたような取り組みやすいまちばかりが対象になっているのではないか。ミライ会議を開いていない地域の、地域特性に応じたまちづくりはどうするのか。
- (会 長) ニュータウンだけが対象となっているのか。

- (事務局) そうではない。担当課から自治会へ問い合わせをし、賛同いただいた自治会が対象となっている。
- (委員) 2つの地域だけを対象としているので、生駒市全体という大きな観点からみると偏っているように見える。
- (会長) 手を挙げやすい地域と挙げにくい地域があると思う。住民の同質性が高い地域は手を挙げやすいが様々な住民が住んでいる地域は手を挙げにくい。そういった地域に対するまちづくりの取組は求められるだろう。ただし、今はミライ会議に対する評価なのでB評価だと思う。
- (委員) 担当課が都市計画課である。ハード事業を担当する都市計画課がこういった取組をしたことは評価できる。
- (会長) B評価としたい。
- (各委員) 了承
- (会長) R2年度はどうか。
- (委員) R3年度以降は担当課も変わるのか。
- (事務局) 自治会を単位とした複合型コミュニティづくりを進めており、ミライ会議もそちらへ移行するので担当課も市民活動推進課になる。
- (会長) R2年度については、目標値を下回っていること、担当課がDと評価していることからD評価とするか。
- (委員) コロナ禍という状況を考慮するとC評価で良いと思う。
- (会長) C評価で良いか。
- (各委員) 了承

3 その他

- (事務局) 今後、後期行動計画の策定に着手する。評価する中で感じた改善点等があればご意見を頂戴したい。
- (会長) 取組の効果を図れるような指標を設定してほしい。
- (委員) もらった資料だけで評価するのは難しいが、これ以上の資料をもらっても読めない。ジレンマはあるが、事務局が確認して、資料だけで委員が評価できるような書き方にしてほしい。
- (委員) 主催者側となることが多いが、その時に事務局にお願いしているのは、異論がでてきたときに応えられるよう準備をしてほしいということ。委員から質問が出そうな点について、事務局側で事前に担当課に聞いて資料を作成のうえ委員に渡してほしい。

閉 会